

'70

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 573 号

1970.10.13 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

〃隔りを取り除こう〃

出席報告

本日の出席 会員数 63名
出席数 37名
出席率 58.73%

欠席者 阿宗君、荒明君、長谷川(文)君
長谷川(悦)君、早坂(徳)君、
石井君、石黒君、五十嵐(三)君
五十嵐(一)君、伊藤(貞)君、
粕川君、金井君、加藤君、金
野君、三井(徹)君、三井(賢)君
小野寺君、大川君、齋藤(信)君
鈴木(善)君、新穂君、笹原君
高橋君、辻君、富樫君、藪田君

前回の出席 前回出席率 74.60%
修正出席数 53名
確定出席率 84.13%

マークアップ 五十嵐(三)君、伊藤(貞)君、
嶺岸君、三井(徹)君、中山君
富樫君一鶴岡西 RC

ビジター 原田行雄君一鶴岡西 RC
土田高之丞君一村上 RC

飛騨高山に旅行して 上林一郎君

皆さんのテーブルの前にある木の葉で包んだものを賞味いただきたいと思います。それは、金沢に商用で参り、会合の解散の日に、偶然飛騨の高山でお祭があることをきき、汽車で参った折におみやげとして大変お世話になった方からいただいてきたものであります。

とにかくついてみて驚いたことは、岐阜、名古屋、大阪はもとより富山、金沢あちらこちらの見物客が、3つも4つも前の駅から続いて道路が一杯にうまっていたことです。私がついたときは午後の4時過ぎでして、雨に逢い駅についたとたんには大混乱でした。駅前に行ったら商工会議所などの案内係が出ておりましたので、そこに行ったが、民泊の宿屋ですら一年前から予約済みで、切羽つまってしまいました。たまたま胸につけていたロータリーのバッヂをみた係の方が、近所にロータリアンでえらい方がおるのでお出でなられたらとのアドバイスをうけ、パンフレットに道順を書いていただいて、そちらを訪ねたわけです。そのうちは、医師の宇野英太郎さんという家でした。外科の方をやっている方でガバナーだそうです。その家に参りましたら先生は岐阜で年次大会があり、そこに出

会報はご家族みんなで読みましょう

席中とのことで留守でありましたが、奥さんがころあたりの宿泊場所をくまなく当って呉れましたが全然入る余地がなかったのであります。

奥さんは、主人は居りませんが、ロータリアンですから是非家に泊って下さいといわれ全く渡りに舟で、ロータリーのお蔭で1泊叶い、そこの家の若先生から街の中を案内していただきました。

先程申し上げたテーブルの上にある木の葉で包んだ味噌はその名物で、各家庭で手前味噌とでも申しますか自慢のもので、それを朴葉でくるみ、お客の前で炭火で焼いてお茶漬によし、その儘食するというものです。焼き方がよいと香といい、味といい大変結構なものでした。

宇野家からは大へん親切に家族ぐるみの歓待を受けましたが、これ偏にロータリアンなるがためですごく有難き極でした。

私は旅に出て余り物を買ったことがないのですが、今おみせするようなものを買って参りましたのでお廻しします。(一刀彫、罌の実の瓶づめ、蠟燭たてなど)

飛騨の高山について、宇野家の若主人が云うには、宮川という川を境として昔からの高山とながしというところが合併して5万5千の市になったとのことでした。

昔の通りの街巾が3間位、両側が出格子でしかも全然手を加えない儘、徳川時代の町家その儘で皆生活しているので、それに祭の中最だったので異様ないきふきを感じられました。軒先の出格子が繊細なつくりでつづき、低い2階建ての家がならんでおりました。家の前に大きい切り石でつくられた側溝があり水がさらさらといひ音色で流れて情調深いものがありました。街では朝起きるとその水で清掃するのだそうです。そのため大へんきれいになっておりました。恰度お祭でしたので祭の際は家々特有のスタレを下げるのだそうです。それがまた白のスタレあり、定紋あり妍があり、その家その家の粋をこらした飾があり、それに高張提灯は皆同じ大きさに定紋をつけてならば、その上に唐傘をさしまして全くすばらしい江戸時代の情調が連綿としておりました。その上武家邸とか合掌つくりとか、江戸時代の庶民の生活が溢れてみられていたことに嬉しさを感じてまいりました。両替をしたところとその隣に造り酒屋が

軒をならべ公開されておりましたので中に入りますと、まるで近松門左工門の浄瑠璃が聴えてくるような、すなわちおさん茂右兵門の場面が出てくるような、或は油地獄の陰残な場面、また長い裾をひいた内儀さんが出てくるような、非常にこった感じをその儘保存され、また櫛、笄の類が全部備っており、私は本当に面白いことだと思って参りました。

それから火事など発生した場合にはその堰をとめたうゑに、その両側の水を使うとのこと。また街の裏側が土蔵造りになっておりますが、それが防火壁になっているとのことでした。絢爛豪華な大名などの生活を、あるいはその建築をみるより私は私達の祖先が生活した表面は虐げられておしながら、その中に裕福でしかも実力は一杯にあった町民の生活を私の胸に刻みこまれ、こんな楽しい見物はかつてなかったと思います。

宇野さんの家族が絵をかく方で私を八畳と六畳の粋をこらした座敷に通しまして、そこに休ませていただいたのですが、表面は質素ですが、大工の細工が素晴らしく、この辺では仲々見られぬつくりでした。

宇野さんから大変お世話になって参りましたので会長さんからいいアイデアをいただくと同時に、こちらの方から何らかの志をしていただいたらどうかと思っております。

ロータリアンなるがゆゑに、一介の市井人が未知の高山でこのようなもてなしを受けたのは、この会のお蔭と思ひ、一言ご報告を兼ねてご披露いたします。

飛騨高山に旅をして 小花盛雄君

高山の話が出たので、一寸続けさせていただきます。

このクラブにもお見えになりました森彰という方、高山の古いロータリアンであります。税務署の前の署長の奥さんのお父さんで関西に旅行の途すがら今一度高山を通して見ようと思って寄ったのがお祭の日でした。

森さんは高山ロータリークラブで創立から5年間幹事をやり、7年目に会長をやり、今あのクラブは15、16年間になっており非常に熱心なクラブの要職にありました。

先程の話にもあったように、パッチをみただけで自宅にお連れし心からのおもてなしをする位の、家族まで徹底したロータリアンの

気が届いているところで大へん感銘深くお伺いいたしました。

森さんはあの町の教育委員長もされて、街々を案内してくれるにもそういう観点から、いろいろ話をいただきました。つきまして、最初にみせてくれたのは宮川という川に7、8本橋がかかっていますが、その橋の欄干から下をみましたところ、そこは淵になって少し深くなっておりますが、1尺5寸か2尺位の緋鯉とか黄色い鯉が、一つの橋毎に百匹位泳いでいるのであります。鯉がここが一番いいところだと知って皆橋の橋脚に集まっているのだそうです。というのは、橋の上から鯉を愛する町の人達が餌を投げておりこれをたべに沢山集まっているのですが、上の橋を指さしあすこにも人が一杯集っておりそこにもまた何れの橋の下にも鯉が一杯集っているのだと申しました。その数は何千を下らないとおもいますがその位鯉がすみついているのであります。私共も内川をきれいにしようということで心をくわしているのであり、かつて前市長が鯉や金魚をはなしたり泳げる川にしたいと云っていた時代もあったようですが仲々そういかないのであります。

それでどうして宮川がこんなにきれいなのでしょいかと伺いましたところ、皆がきれいにしようという気持があり、また毎年有志の方々が大きい鯉を放流していることもあって鯉も豊富なんだそうです。それが又子供達的情操教育に非常に役立っているとのことでした。

先程のお話で溝の水で毎日街をきれいにするというお話がありましたが、成程とうなずけます。

それから教育の話になって、ここに高校がいくらあるかおききましたら4校か5校あるとのことでした。それでヤングパワーがどうなっているかきいたが、げげんな顔をしているので先生と生徒のギャップで難しいことはありませんかとききましたところ、この町には日教組がないとのことでした。

私が思うにこの町は代々お父さんが教育者であり、そしてその子供が教育者になる。その又子供が教育者になるという具合で、一つの一貫した考えで教育が貫かれている。そういう先生が全部とは言えないまでも大部分を占めているので、日教組が入り込む余地がないと思います。そう教育委員長さんが嬉しげ

にまた誇らしげに話されたので私も驚きました。

それから街を案内しながらお話されたことは、この街は表通は皆門をいたしますが、裏通りは施錠しないとのことでした。これもこの街の特長と言えましょと云っております。

帰るときに飛驒の版画集をプレゼントしてくれました。みましたら1つの中学に熱心な先生が居られて、先生が指導して版画教育8年の歩みというのを画集にして出したのですが、これは印刷ではなく生徒が一枚一枚すって製本したので、1万円もするんじゃないかと思えます。勿論非売品ですが。

森さんが15年か16年前幹事をしておられる時代に、あの山の中で国際奉仕をどうしたらよいかとなやんだそうで、そのころから発足していた版画を使うということになって、各50枚位のグループを30か所から世界中のロータリーに配ったのだそうです。これが非常に大きい反響があって、アメリカやヨーロッパのクラブと交流が出来たということで、山中にある一つの国際奉仕のいい資料だと思つて有難く頂戴してきました。

恰度税務署の前の署長の中島さん御夫妻も彼の同僚岐阜の税務署長を連れて祭をみにきておりました、鶴岡を懐しがり、東京に帰つても半年位の間毎日鶴岡の言葉が出ないことがなかった程だったとのことでした。また森さん御夫妻も自動車で鶴岡まできたのですが、鶴岡、温海で過した印象が忘れられない。温海で食べた魚のうまさは忘れても咽が忘れないという位喜んでおりました。

また帰りましたら当クラブの皆さんにぐれもよろしく伝えてくれとのことでした。

10周年記念誌の配布先について 嶺岸光吉君

10周年記念誌の配布先の選定について、私と石黒先生がおおせつかったのでありますがその選定経緯について発表いたします。全部で300冊印刷したのでありますが、現会員に65部、物故会員の遺族の方に8部、元会員の方に34部、ガバナーバスターバナーに13部、第353地区全ロータリークラブに81部、地域社会における団体即ち荘内日報社とか鶴岡商工会議所などに12部、合計213部頒布しまし

た。残数が沢山ありますので会員の方で特に関係があつて贈呈したい方がありましたら事務局に御連絡ねがいます。また若干はこれからの新入会員に配布したいと考えております。なお佐藤伊和治さんから佐藤龍治さんに1冊注文がありました。それでも残数がありますので事務局までどうぞ。

ゲスト 池野先生のご紹介 安藤定助君

池野先生の大まかなお人柄とか、御奉仕の心などよく存じ上げ敬意を表しておたのでありますが、例会の前には是非お訪ねして、いろいろそういったことを先生にお尋ねして、その上皆さんにご紹介申し上げようと思つておたのですが、何しろ多忙のため今日もやつのことでお迎えしたようなことで、意を尽せぬかもしれませぬが御寛容ねがいます。

私から申し上げるまでもなく先生は内科小児科の医師として仁術を尽しておられるのでありますが、それと同時に動物に対して非常な愛護心をもつていらっしゃる方です。

そのため鶴岡市の表彰条例が決りました第1回の表彰を受けられたのであります。即ち動物愛護を通じて社会福祉に貢献されたためと伺つております。爾来新聞でご存じと思ひますが、毎年かさねずに市に対し多額のご寄附を上げて福祉に役立てていらっしゃる方です。また毎年東京から専門の先生をおよびになり野良犬野良猫の去勢を実施して、これらのみじめな末路を防止するに役立てていられるのであります。

それで本日は先生から動物愛護について暖いお心のうちなどおきかせいただければ幸いと思つております。

なお先生は印度の救済会の会員もなされておられ、国際にも奉仕の行為をなさつていらっしゃるに承りました。

以上簡単に先生のご紹介をいたします。

動物愛護などについて 池野勇先生

私が動物に関心をもつたということは、格別難しいようなお話ではないのであります。

シアセルサンの生命の池というような深遠な意義をもつていたのではないのであります。

一口に申しますと動物に対する憐憫の情でも申しましょか、そういうものが直感として心を動かしたのであります。勿論理由もありませんが小さいときから動物はあまりきらいでなかつた記憶が残っているのであります。

こちらにお世話になつたのが昭和24年の10月でした。その頃は元気でしたから往診も歩いて行きました。その折時々犬に出くわしたのであります。水雨の降る11月頃とか12月頃雨にぬれながら、巷でエサをあさるという姿です。塵箱の蓋を払いのけてエサをあさる野良犬があちらに1頭こちらに1頭とおりました。実はそのとき犬に首輪がついているのをみて実はほつとしたのであります。何故かというこれは飼主がおるんだということが浮んだからです。今は飼犬条例などというものがもうけられているので、野放の犬は余りみられませんですけれども、当時は野良犬も多うございました。そこで思ひつきましたのは何年前か忘れてましたが、野犬というようなものを巷からなるべくなくしようというのが発端でありまして、そうするにはやはり去勢手術をするより方法がないと、それには私は獣医でも外科医でもないで私自身は出来ないのです。そこでこの獣医さんにおねがいしたところ快く引き受けて下さいました。そして当時は1ヶ月おきぐらに行い半年つづけました。ところが困つたことに種々の苦情が出てきたのであります。それはこれらの手術した犬が発情して困るとか妊娠して困つたとかのことでした。これは仲間々まく行かぬものだと考えて一時中断したことがありました。

そうしているうちに、当時の松木市長さんから電話があり、この池野先生の動物愛護のご活動について今度動物愛護協会から表彰されることになり記念品など沢山市役所に届いているのでお出で請うとの用件でありました。そのとき動物愛護協会があることを初めて知り、市長さんといろいろ話をいたしました。動物愛護協会と言うのは財団法人であり理事長をしている方がこの地の出身の齋藤広吉さんでした。この方は今は亡くなりました。

そこでそういうところにおねがひしたならば、正しい処置で犬の飼主から信頼を得られる去勢の方法を得られるでないかと考え、そ

のことを協会に照会しましたら、大へん満足の行く承諾を得られました。それで春秋2回2日間の間にやることになりました。しかし今までお世話になった獣医さんの好意を無視してはいけないと思って、言いづらいことでしたが事情を申し上げました。そして獣医師会のお名前はここを拝借したいことを申し添えましたところ、感情的に面白くない面もあってか拒否されたのであります。そして空しく引き上げたのであります。

たまたま稲生町に公民館のようなコンクリート広場のようなところがあったので、そこでやって行くことにしました。ここで2年から3年間去勢手術をやったのであります。向う様は和田さんであります。たいへんなお力添をいただきました。それにしても和田さんの家をいつまでも借用するのは心苦しいと思い、その後即ち7年か8年前に自宅の一隅に手術室をつくりそこで去勢手術を行うようにしております。

勿論手術処置料の分担は私も行っておりますが、動物愛護協会でも非常な犠牲を払っておられると思うのであります。幸にも漸次市の周辺の皆様の御理解をいただくことになり昨今ではとても応じ切れないような状態であります。今年も9月4日、5日の2日間に25頭の手術を行いました。その後も続々と参りましたが2日間の期限でしたのでこれ以上お願いすることが出来ず5頭ばかり来年の4月に残ることになりました。

大体やってきた仕事といえ以上のようなものです。他には特に高過なものではなく、一般の方と同じような憐憫の情に動かされて今いったようなことを行ってきたのですが、私はつくづく動物のあわれさというか悲しさというか、またその2つをミックスしたようなセンスを日々経験しているのであります。

この間も家の飼猫が蟋蟀をくわえてまいるしかもその腹を破ったのであります。それでも蟋蟀は動いているのです。それから猫をたたきつけて口から蟋蟀を離させましたところ蟋蟀は一番身の安全な縁の下に逃げ込んだのであります。

それから枇杷を植えたら1尺2、3寸の大きなきになり、その植木鉢を日向に持ってきたのであります。そうしたら葉と殆ど同じ大きさの蜘蛛の小さいのが降りてきて、一寸目をそらしているうちにどこかに行ってしまい見

えなくなりました。そこで考えてみたことは蜘蛛に大脳がある訳でなし、これは本能にもとづく動作で生命は軽視すべきでないといつくづく感じたのであります。

今現在の状態では、人間は地上の勝利者だといっても、誰も異存はないことと思えます。あらゆるものが人間本意に淘汰されますし、そういう風で人間は強いもので力があり知恵があつてすぐれているもので、他の動物の足許にも寄り付けられないのであります。

そうだからとて、弱い動物を訳なく生命を奪うことはいけないことであつて、そういう風な心を持ちつづけるのは戦争が絶えないことに通じるものがあり、今なお、どこかで戦斗を繰返しているようなことに連るのでないかと思うのであります。

そういう意味から弱いものもめめをしないこと、そこで小さいときから動物愛護の精神を養っておくことが人類社会というものはもっと本当の幸福をつかむに役立つものと思うのであります。

他にも犬猫の哀話などの幾多のことを知っておりますが、動物のお話はこれで終りいたします。

それから先程上林さんと、小花さんからお話のあった飛騨の高山については未知のところではありますが、ここに憧憬の念をもっているのであります。それはある紀行家が言うには、日本では、今は武家時代の生活情緒が失われてしまったのですが、未だ3つの城下町に昔を偲ぶ面影が残っているといわれております。そこは山口県の萩、高山、それに羽後の角館であります。

そういったことで、高山のお話を大へん面白く拝聴しました。

安藤定助君から、今の池野先生のスピーチは動物愛護週間にお伺するつもりでございましたが、諸般の都合で今日に至ったとの附言があった。

バナーなどについて 張 紹淵君

クリスマスカードを送付する作業を一昨日からやりはじめました。それは飛行便で送ると金がかかるので、2ヶ月前に送るために早めたのであります。

次に外国のバナーがどの位あるかという

バナー

昨日の調べですが、マイアミビーチ大会など
独得のものを含めた外国のバナーが137あり
ます。またクラブ独特のものを表しているの
が、129あります。国内のは132あります。合
計しますと261になります。全部入れると269
あることになります。

小池会長さんからこのようなクリスマスカー
ドの寄贈をいただき、クラブ全員と会長の
名前で、交換したバナーのところに贈ろうと
思っております。例年の通りでありますが一
寸ご報告いたします。

なおバナーで整理したのものには、バナーの
隅に済の印を捺してあります。済印のないの
は未整理のものであります。昨日全部アイロ
ン掛けしたので大切に下さるようお願い
します。

それからバナーをいただいたらどこのバナ
ーかたしかめるためにカラーフィルムと白黒
のフィルムまたスライドにおさめて整理し、
かつ、アルファベット順に簿冊を設て銘記し
ております。バナーをいただいたら整理処理
洩れのないよう留意したいと存じます。

幹事報告

会報到着

- 温海RC、白鷹RC、石巻東RC、
- 東京RC
- 東京RC 50年小史 The Tokyo
Rotauan No.97

例会場変更

- 最上RC 10月14日(水) PM0.30~
- 瀬見温泉川原
(家族いも煮会)